

介護部会横浜西部①、県央会議報告書

実施日 2024年2月7日(水) 14:00 ~ 16:00

会議実施会場 リモート会議

参加施設

- ・老健ゆめが丘・エスポワール和泉・ハートケア左近山
- ・老健アゼリア・さつきの里あつぎ・横浜いずみ(プロック長、司会、書記)

議事項目 フリートーク

内容

① 近隣施設の状況やベッド稼働について

- ・地域連携室と協力し地域のイベントに参加したり、

地域からの依頼で介護系の講演会を行ったりして施設の認知度を上げている

- ・入所相談は基本全て判定する。難しい事例は施設全体で判定する。

また、家族に事故などのリスクを事前にしつかり説明する。

② デイケアの稼働率アップについて

- ・近隣にチラシを配ったり、ボランティアに介入してもらったりしている。

余暇を充実させたりする。月2回パンの移動販売に来てもらう。

- ・短時間でのデイを試したり、行かないエリアにも向かったりする。

- ・利用の相談を断らない。

③外出レクや面会について

- ・面会は施設内で人数や枠を決めフロア内まで来てもらったり、ロビーで実施したりする。リモートで実施する施設もある。

面会再開によるトラブルは思ったより少なかった。

- ・外出レクは実施しない施設が多い。敷地内を散歩する程度は行っている。

④人事異動について

- ・計画的に異動は行う。移動は希望した職員や役職者が選定したりする。
- ・在宅の経験を積むためにディにも異動してもらう。

⑤職員のメンタルヘルスについて

- ・本人と面談を多く行い出来る限り仕事を継続出来るように働きかける。

ただ、実際は退職に至るケースが多い。

- ・復職に関してのプログラムを作る。

⑥防災時の職員の招集について

- ・震度5強で管理者が来ることになっているや、自身と家族に被災が無ければ

施設に来る。法人で安否確認メールを使用する。

- ・取り決めをしていない施設も多い

⑦介護報酬改定について

- ・どの施設もはっきりとした話はしていない。

⑧管理者の勤務

- ・シフトには入らず必要なところのヘルプに入る。食事介助や入浴介助、

デイの送迎など。勤務も基本平日のみで勤務時間も日勤帯のみ。

一方で、ほぼシフトに入りながら役職業務を行う設も多く、夜勤明けや入り

で役職業務をしたり、夜勤も8日近く入ったりする所もある。